

高炉水砕スラグの地盤工学的利用促進に関する研究委員会 成果報告会

銑鉄の製造過程において生成される高炉水砕スラグは、人工的に一定の製法で生産されていることから、粒度および土粒子密度等の物理的性質が安定しているとともに、強度・透水性に優れかつ軽量である、という特徴があります。また、一定の条件下で時間とともに硬化し、強度増加する潜在水硬性を有しています。このため、自然砂の採取に伴う環境負荷を削減する観点から、地盤材料として高炉水砕スラグの特徴を活かした利用技術の拡大を図ることを目的として、研究活動を行ってきました。このたび、その活動成果をとりまとめるとともに、下記のとおり報告会を開催いたします。

日 時：平成22年4月22日（木）13:00～16:30

場 所：地盤工学会 大会議室

参加費：会員2000円、非会員3000円、学生会員1000円（報告書を含む、消費税を含む）

プログラム：

時間	内容	講師
13:00～13:05	開会挨拶	松田 博 【山口大学 研究委員会委員長】
13:05～13:25	概要 [第1章～第4章]	松田 博 【山口大学 研究委員会委員長】
13:25～13:55	各WGからの報告（水硬性WG） 「第5章5.1」	篠崎 晴彦 【新日本製鐵】
13:55～14:25	各WGからの報告（環境WG） 「第5章 5.2」	岡本 隆 【JFEスチール】
14:25～14:55	各WGからの報告（港湾WG） 「第5章 5.3」	水野 健太 【若築建設】
14:55～15:05	休憩	
15:05～15:35	各WGからの報告（土工WG） [第5章5.4]	石藏 良平 【山口大学】
15:35～16:05	各WGからの報告（海外WG） [第5章5.5]	丸田 寿延 【協材砕石】
16:05～16:15	まとめと今後の課題 [第6章]	来山 尚義 【復建調査設計】
16:15～16:25	質疑応答	
16:25～16:30	閉会挨拶	来山 尚義 【復建調査設計 研究委員会幹事】

司会進行 光藤 浩之 【JFEミネラル】